

2021.10.27

校長通信 No.30

○上の舞台での貴重な経験 ～女子バスケウインターカップ県大会～

10月23日(土)、女子バスケットボールのウインターカップ県大会が、星陵高校で行われました。本校の女子は部員8人、相手の星陵高校は1名少ない7人(今回の出場チームの中で最少人数)ということでした。



前半リードしているのにも関わらず、するべき動き、やるべき動きができずに相手に追い上げられるという状況が見られました。落ち着いてプレーすれば十分できるのに、自分たちでリズムを悪くしている印象でしたが、後半にかけて少しずつ普段の練習でやっていることができるようになってきました。結果66対48で勝利、2回戦に進出しました。2回戦は、今回ベスト4に入った園田学園との対戦。大きく点差は開けられましたが、今自分たちができる精一杯のプレーで頑張りました。県大会でのこの経験は、また次の新人戦にも活かせることでしょう。お疲れ様でした。

また、同日に行われた駅伝の丹有予選では、男子が3位、女子が2位に入賞し、11月7日に行われる県大会への出場権を獲得しました。ソフトボール、剣道、卓球の県新人大会、女バレーボールの全国選抜県予選大会もこの週に行われます。生徒の皆さんの活躍を期待します。

○よりよい「丹BAL」を目指して ～高校教育課訪問指導～



10月27日(水)、高校教育課の訪問指導がありました。本校1年生の「総合的な探究の時間」の授業では、これまでまとめてきた「地域の魅力」、「フィールドワークでわかった課題」、「魅力発信のためのアイデア」、「これまで受けた助言から考えたこと」、そして「自分たちの提案」を講師の先生方にプレゼンしました。12月の学年発表会へ向けてさらにまとめていきます。

授業後にあった研究協議では、教員に対して「生徒から積極的に質問が出る仕掛け」「データを上手に集め活用するための手立て」など具体的な助言がありました。生徒にどのような力をつけさせるのか、そのための探究をどう取り組んでいくか。今回の訪問指導をもとに、さらに探究活動が充実していくように取り組んでいきます。